

## 令和3年度 鶴見区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	鶴見区人材育成推進事業	3,086	3,086	2,986	2,986	100	100
2	魅力ある区役所づくり事業	13,426	10,525	15,038	12,229	△ 1,612	△ 1,704
3	発見つるみ!～データでみる鶴見区～	520	510	799	789	△ 279	△ 279
4	鶴見区広報・広聴事業	2,869	2,013	2,869	1,921	0	92
5	鶴見区環境行動推進事業	1,152	1,152	1,152	1,152	0	0
6	「千客万来つるみ」プロモーション事業	8,000	8,000	8,000	8,000	0	0
7	つるみ・地域の課題解決事業	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	3,000
8	商店街魅力発信事業	1,200	1,200	1,050	1,050	150	150
9	多文化のまち・つるみ推進事業	14,326	14,246	14,711	14,631	△ 385	△ 385
10	鶴見区民まつり支援事業	3,700	3,700	3,700	3,700	0	0
11	つるみクリーンタウン事業	3,623	3,623	2,927	2,927	696	696
12	自治会町内会振興事業	2,400	2,400	2,037	2,037	363	363
13	防災活動推進事業	13,373	13,373	12,162	12,162	1,211	1,211
14	放置自転車対策事業	5,650	5,650	6,650	6,650	△ 1,000	△ 1,000
15	交通安全推進事業	2,380	2,380	2,298	2,298	82	82
16	鶴見区防犯活動支援事業	2,989	2,549	2,238	2,238	751	311
17	地域文化・区民活動推進事業	2,859	2,771	2,846	2,758	13	13
18	区民スポーツ振興事業	1,050	1,050	1,050	1,050	0	0
19	青少年健全育成事業	2,143	2,143	2,013	2,013	130	130
20	つるみDE子育て応援事業	3,117	3,117	3,315	3,315	△ 198	△ 198
21	つるみの未来を育てる保育所事業	3,634	3,634	3,800	3,800	△ 166	△ 166
22	鶴見区虐待予防事業	2,651	2,651	2,647	2,647	4	4
23	鶴見・あいねっと推進事業	2,553	2,553	2,984	2,984	△ 431	△ 431
24	ヘルスアッププラン	1,893	1,893	4,027	4,027	△ 2,134	△ 2,134
25	「広げよう見守りの輪」推進事業	1,587	1,587	968	968	619	619
26	感染症対策事業	910	910	433	433	477	477
27	鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	420	420	678	678	△ 258	△ 258
28	鶴見区高齢者はつつ生活応援事業	1,374	1,374	1,840	1,840	△ 466	△ 466
29	生活衛生サポート事業	876	876	991	991	△ 115	△ 115

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上 区庁舎・区民利用施設環境改善	事業開始年度	平成6年度
------	--------	---------	----------------------------	--------	-------

事業名	鶴見区人材育成推進事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,086					3,086
前年度	2,986					2,986
増△減	100	0	0	0	0	100

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算	1,880	2,399	3,049	事業費	3,086	3,086
メリット+一般財源	1,880	2,399	3,049	一般財源	3,086	3,086
決算	2,119	2,018	2,453	方針に関する決裁 種別( )		
決算	2,119	2,018	2,453	有:件名( )、日付(年月)		

事業の概要(目的)	全職員が一体感を持ち、“チームつるみ”の一員として意欲・能力を最大限発揮できるよう人材育成に取り組むとともに、庁内のコミュニケーション・情報共有を促進し、業務効率化を図ります。また、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、人権啓発講演会を開催します。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	
地域の課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 4 「区民サービスの向上」
3 根拠法令・要綱等	横浜市職員研修規程(平成30年4月改正)、横浜市人材育成ビジョン(平成30年3月改訂)、横浜市職員人権啓発研修推進要綱(平成27年4月改正)、横浜市人権施策基本指針(平成29年1月改訂)、横浜市人権啓発推進計画(平成25年3月改訂)、横浜市電子市役所推進に関する要綱(平成26年6月改正)等

【実績の推移・今後見込み】

**1 人材育成推進**  
様々な機会をととの研修の開催と職員の主体的取組の推進により、一般的な研修形態にとられない人材育成が行われています。恒例となった「引越しシーズンの窓口応援」など、各課横断的連携も着実に進んでおり、窓口サービスのより一層の向上を図る風土が醸成されています。今後も地道な取組をととし、あらゆる側面から人材育成を行います。

人権啓発講演会参加者	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	4年度見込み
	445名	468名	約400名	中止※	300名	300名

※感染症拡大防止のため中止。代替策として、市民向け人権啓発コラムの作成及び広報紙掲載を予定。

**3 ICTの活用促進**  
・OA関係機器管理(修繕等)を適宜行います。  
・総務課専用サーバーの作動管理及びメンテナンスを継続して行います。

【実施内容】

**1 人材育成推進** 職員として必要なスキルの習得や意識改革の推進  
(1) 窓口サービス向上：市民局が実施する外部評価等を活用し、区の課題を把握し、改善を図ります。  
(2) 人権啓発研修：職員一人ひとりが人権問題に対する正しい理解と認識を深められるよう研修等を実施します。  
(3) 職員企画・提案型研修：職員が主体的に企画を行うことで、講師及び受講者のスキルアップを図ります。  
(4) その他研修：転入職員研修、人材育成研修のほか、区職員として必要な知識を身に付ける研修を随時実施します。  
(5) 改革推進委員会(つるみ笑顔と感動！プロジェクト)：各課横断的取組として、職員の自主的検討と課題解決を実践します。

**2 人権啓発**  
区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催します。また、職業差別に係る啓発を重点テーマとし、市民向け広報を行います。

**3 ICTの活用促進**  
区役所内の事務事業の効率化のため、パソコン等のOA機器を管理・運営します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 人材育成推進	327	404	△ 77	実績に基づく減
2 人権啓発	1,162	985	177	職業差別に係る啓発の重点実施による増
3 ICTの活用促進	1,597	1,597	0	
事業費合計	3,086	2,986	100	

【根拠とするデータ等】

過去の実績等に基づき積算

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 柏木 利明	係長 吉濱 隆宗	庶務係 遠藤 咲紀
--------------------	-------------	-------------	--------------

（様式3-1） 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[ 鶴見 区 総務 課 ]

No.	2
-----	---

予算区分	区役所総務費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・ 課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善 子育て支援	事業開始年度	平成6年度
------	--------------------------	-------------	-------------------------	--------	-------

事業名	魅力ある区役所づくり事業
-----	--------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	13,426		2,901			10,525
前年度	15,038		2,809			12,229
増△減	△ 1,612	0	92	0	0	△ 1,704

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	8,227	9,655	11,986	子	事業費	13,426	13,426
	メリット+一般財源	5,908	7,491	10,177	算	一般財源	10,525	10,525
決算	事業費	11,568	19,026	19,456	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	9,195	16,825	16,542	有:件名( )、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内環境や感染症対策を踏まえた清潔かつ快適な区役所環境の整備を図り、区民等が利用しやすい安全な区役所の実現を目指します。</li> <li>また、区行政への様々なニーズに対応します。</li> <li>・子どもを伴って来庁する区民等の利便性を向上させるため、同伴の乳幼児を一時的に預かります。</li> </ul>
---------------	---

（説明）

1 地域の課題等	
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 4 区民サービスの向上
3 根拠法令・要綱等	鶴見区役所一時託児施設運営要綱、鶴見区役所一時託児サービス保育要領、鶴見区役所一時託児推進事業実施要領

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	4年度見込み
託児数(人)	780	595	584	637	637	637	637

【実施内容】

魅力ある区役所づくり事業  
 区民サービス向上、庁内環境及び感染症対策の区庁舎環境の整備  
 来庁者に対するサービス向上を図るための事務経費  
 一時託児サービス事業  
 1 事業内容 一時託児  
 2 場所 区役所1階常設託児スペース  
 3 時間 週3日(月・水・木曜日(祝日除く))の8時50分～16時10分  
 4 対象 生後6か月以上6歳以下の乳幼児  
 5 利用料 無料  
 6 方法 保育ボランティア(地域振興課で実施する保育ボランティア養成講座受講者のうちの希望者)による保育  
 保育ボランティア年間延人数：元年度568人、30年度572人、29年度580人、28年度972人

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
魅力ある区役所づくり事業	11,788	13,370	△ 1,582	
一時託児サービス事業	1,638	1,668	△ 30	日数の減
事業費合計	13,426	15,038	△ 1,612	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	柏木 利明	篠田 行正	石神 卓也

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[ 鶴見区 総務課 ]

No. 3

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成16年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名
発見つるみ！ ～データでみる鶴見区～

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	520		10			510
前年度	799		10			789
増△減	△ 279	0	0	0	0	△ 279

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	682	129	778	予算	事業費	520	520
	メリット+一般財源	682	129	778		一般財源	510	510
決算	事業費	473	159	442	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	473	159	442	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			

事業の概要(目的)	区民が鶴見区の概要を容易に理解し、地域に親しみを持っていただけるよう、各種統計データをコンパクトにわかりやすくまとめ、冊子を発行する。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	
地域の課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 4「区民サービスの向上」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
発見つるみ	-	2,500冊(※)	-	2,000冊	1,500冊	1,500冊	1,500冊
発見つるみ概要版	-	-	7,000冊	7,000冊	5,000冊	5,000冊	5,000冊

※鶴見区政90周年記念式典で配付したため、500冊増刷しました

【実施内容】

- 発見つるみ
  - 様式(予定)：A4版 24頁 カラー印刷
  - 内容：鶴見区の各種統計数値(区の誕生、面積、地勢、歴史、人口、国勢調査、産業等)
  - 公表：鶴見区ホームページでの公表、冊子の発行
- 発見つるみ概要版
  - 様式(予定)：A4版 2頁 カラー印刷
  - 公表：区役所戸籍課窓口で転入者に配布

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
発見つるみ！～データでみる鶴見区～	520	799	△ 279	印刷部数の減
事業費合計	520	799	△ 279	

【根拠とするデータ等】

冊子印刷部数は、区内の小・中学校、図書館等の公共施設数や鶴見区役所各課での配布数等に基づき積算。概要版印刷部数は、戸籍課窓口で配布している転入者セットの実績に合わせて積算。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 柏木 利明	係長 山田 一貴	統計選挙係 田代 祐太
--------------------	-------------	-------------	----------------

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

No. 4

[ 鶴見 区 区政推進 課 ]

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名	鶴見区広報・広聴事業
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,869		856			2,013
前年度	2,869		948			1,921
増△減	0	0	△ 92	0	0	92

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,509	3,320	2,614	予算	事業費	2,869	2,869
	メリット+一般財源	2,622	2,205	1,678		一般財源	2,013	2,013
決算	事業費	4,583	3,198	2,252	方針に関する決裁種別( )			
	メリット+一般財源	3,542	2,270	1,295	有:件名( )、日付(年月)			

無

事業の概要(目的)	・地域メディアを活用し広報の充実を図るとともにホームページ及びツイッターで適時・迅速な情報提供を行います。 ・広聴事業を展開し、多様化する区民ニーズや地域の課題を踏まえ、各種課題を把握し区政運営を推進します。また、行政では対応できない区民の課題について特別相談事業を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	
【広報】	ホームページは、内容を充実させ、情報発信を積極的に行う必要があります。
【広聴】	区政を推進するにあたり、区民の視線で運営しなければなりません。そのために積極的に区民ニーズを把握し活用を図る必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 2 陳情 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 4「区民サービスの向上」
3 根拠法令・要綱等	【HP】横浜市インターネット利用ガイドライン 【相談・広聴】「市民の声事業の実施に関する取扱要綱」「市民の声の公表の実施に関する取扱要綱」「横浜市の保有する情報公開に関する条例」「横浜市個人情報の保護に関する条例」

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度	2年度見込み	3年度見込み
生活・防災マップ発行部数	20,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000

※総務課と区政推進課で発行した合計の部数です。費用は総務課と按分します。

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実	2年度見込み	3年度見込み
広聴受付件数	502	524	530	555	530	530

【実施内容】

- ホームページ等その他広報事業
  - 地域メディアの活用を取り入れ、多様な広報媒体による広報を展開します。また、鶴見区ホームページやツイッターにより行政情報を発信します。
- 生活・防災マップ等発行事業
  - 鶴見区の地理関係がわからない転入者向けに地図を配布し、地域情報を提供します。
  - 令和元年度に都市整備局で作成した「鶴見区バスマップ」のデータ修正及び管理業務を移管し、更新したマップを印刷します。
- 広聴事業
  - 区民の声を収集し、積極的に活用した市政・区政の運営を目指します。
  - 市民局の「市民からの提案」をはじめとする、いわゆる「市民の声」事業を利用することで、より効果的な広聴事業の運用を目指します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広報・広聴事業	2,206	1,600	606	感染症対策啓発広報等による増
生活・防災マップ等発行事業	663	819	△ 156	前年度実績に基づく減
広聴事業	0	450	△ 450	前年度実績に基づく減
事業費合計	2,869	2,869	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	飯島 龍	高橋 亜紀	西上 香織

( 鶴見 区 - 4 )

[ 鶴見 区 区政推進 課 ]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成20年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 鶴見区環境行動推進事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-行政運営			10	1	10	2	
	重点事業			10	4			
	新規・拡充							
	温暖化対策関連事業		○					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,152					1,152
前年度	1,152					1,152
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,293	1,373	1,202	予算	事業費	1,152	1,152
	メリット+一般財源	1,293	1,373	1,202		一般財源	1,152	1,152
決算	事業費	1,197	1,078	1,104	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,197	1,078	1,104	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	鶴見区地球温暖化対策行動指針に基づき、区民・地域・事業者と連携して、温暖化対策をはじめとした環境行動の啓発活動を推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等  
地球温暖化問題への対応をはじめとした持続可能な社会の実現に向けては、区民、地域、事業者、行政が一体となって環境行動に取り組む必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望		
-------------	------------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係  
令和2年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」

3 根拠法令・要綱等  
「横浜市地球温暖化対策実行計画」(区域施策編)  
鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議設置要綱

【実績の推移・今後見込み】  
平成20年度に鶴見区地球温暖化対策推進本部を立ち上げ、地域、団体、事業者が共に取り組んでいく行動指針“つるみのエコ10か条”を策定しました。平成21年度は、各家庭が省エネなどのCO2排出量削減に取り組むためのツールとして鶴見区環境家計簿を作成し、エコ博や子ども向けのエコ教室を開催しました。平成22年度以降は、各種イベントにおける脱温暖化行動のPR活動を実施しています。  
令和3年度以降も引き続き、行政のみならず、区内企業や活動団体等と連携して事業を展開する必要があります。また、PRについては、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、これまでの地域イベント等での対面式の方法から、新しい生活様式に即した方法へのシフトを検討していく必要があります。

【実施内容】  
1 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議の開催  
地域、事業者、区民活動団体と行政のパートナーシップで温暖化対策を進めるため、意見交換、情報共有等を目的とした会議を開催します。  
2 環境行動PR事業  
温暖化対策をはじめとした環境行動が、家庭、地域や団体で浸透していくよう、地域で行われる各種イベント等においてPRを実施します。  
3 緑のカーテン事業  
夏季に区庁舎及び土木事務所引き続き緑のカーテン事業を実施します。また、区庁舎の壁面緑化箇所についても引き続き適切な管理を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
環境行動PR事業	700	700	0	
緑のカーテン事業	452	452	0	
事業費合計	1,152	1,152	0	

【根拠とするデータ等】

令和元年度実績を踏まえ計上  
・脱温暖化行動PR事業(エコ教室2回、地域PR2回等)  
・緑のカーテン事業(緑のカーテン実施期間：5月～11月、壁面緑化実施期間：4月～3月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整・企画調整 係
	柏木 利明 飯島 龍	篠田 行正 飯田 俊輔	松本 彩那 西田 あかね

（様式3-1） 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[ 鶴見 区 区政推進 課 ]

No.	6
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成24年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 「千客万来つるみ」 プロモーション事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号   主な施策番号	事業評価 書番号   該当なし
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,000					8,000
前年度	8,000					8,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,990	5,714	8,000	予算	事業費	8,000	8,000
	メリット+一般財源	2,990	5,714	8,000		一般財源	8,000	8,000
決算	事業費	3,009	4,795	7,158	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	3,009	4,795	7,158				

事業の概要 (目的)	歴史や文化など鶴見の魅力を発信し、地域、企業、行政等の連携によって取組を進めることで、地域コミュニティの一体感を高めるとともに、区外からの集客促進によって、地域経済の活性化を図ります。
---------------	--

(説明)	
1 地域の課題等	市の誘客促進施策は都心臨海部が中心になりがちですが、そこから外れている鶴見区にも魅力的な観光資源は多くあります。これらの区の魅力を区が積極的に発信していくことは、区局や地域が新たな横浜の魅力を発見することにもつながり、ひいては市全体の知名度・認知度向上や横浜経済の活性化、交流人口の増加に寄与するものと考えます。
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート 7 関係団体からの要望 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」
3 根拠法令・要綱等	なし

【実績の推移・今後見込み】				
	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
鶴見ウチナー祭	70,000人	70,000人	10,000人 ※2	10,000人
旧東海道ウォーキングイベント	500人(雨天)	※1	5,000人 ※3	5,000人
※1新型コロナウイルスの影響により中止 ※2新型コロナウイルスの影響によりオンラインによる開催。R3見込みはオンライン開催継続の場合の見込み ※3新規事業への組込みによる実施。R3見込みは新規事業への組込みによる開催を継続する場合の見込み				

【実施内容】	
1 魅力づくりと区内外への発信	ワックン等を活用した新たな地域活性化アイテムの開発、地域ポータルサイトの運営、魅力PR動画の製作など、「地元の魅力の再発見」と「区内外への発信力の強化」を、地域・団体・企業等様々な主体とともに取り組んでいきます。
2 地域活性化イベントの実施	地域や団体、企業等との協働によって地域活性化に繋がるイベントを実施します。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
魅力づくり	1,900	1,500	400	新規イベント実施による増
地域ポータルサイト運営	100	500	△ 400	2年度実績に基づく減
魅力PR媒体作成	3,500	3,000	500	魅力PR動画の新規作製による増
客船ターミナル周辺事業	500	1,000	△ 500	イベント対象者の絞込みによる規模縮小のため減
ウチナー祭の共催	600	600	0	
京急電鉄との連携事業	1,400	1,400	0	
事業費合計	8,000	8,000	0	

【根拠とするデータ等】	
横浜市観光集客指標、各イベントアンケート	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	飯島 龍	飯田 俊輔	加藤 早紀



（様式3-1） 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[ 鶴見 区 区政推進  
地域振興 課 ]

No. 7

予算区分	街づくり推進費	性質・ 課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成25年度
------	---------	-------------	---------	--------	--------

事業名 つるみ・地域の課題解決事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 該当なし
	中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,000					6,000
前年度	3,000					3,000
増△減	3,000	0	0	0	0	3,000

予算	事業費	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度	令和5年度
事業費	2,015	1,119	3,558	6,000	6,000	
メリット十一一般財源	2,015	1,119	3,558			

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 日)  
無

事業の概要 (目的)	地域主体による取組では困難な地域課題の解決に向けて、区として機動的に対応するための支援や調査を実施します。
---------------	---

(説 明)

1 地域の課題等	鶴見区では、地域課題に対する地域の自主的な解決への取組支援策の一つとして、平成24年度から「区役所が一体となった新たな地域支援体制の運用」を開始し、地区担当責任職をトップとして各地区連合ごとに地区別支援チームを組織しています。 その支援の中で、所管する機関(区、市、国、民間企業など)が明確でない課題や緊急性が高い課題に対し、具体的な対応策の検討が必要となっています。 また、「地域力の支援・強化」を区政運営上の重要施策と位置付けているなかで、地域の活動団体等からは、特に活動の初期段階における資金的な支援のニーズが根強くありことから、補助金の制度を組み替え、支援をおこないます。その他にも、区内にある広場・遊び場を利用者が安全・安心に使用できるよう図っていきます。
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度 6 区民要望
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

1 実績  
地域の課題解決サポート事業 令和元年度実施内容 [8件]  
①口腔機能測定機器等の購入、②鶴見区内の所有者不明案内板の撤去、③ムクドリ撃退装置の購入  
④⑤サムエル町のはらっぱ整備費(石壁撤去他1件)、⑥区民活動センター会議室への空調機設置  
⑦区庁舎内の美化、⑧鶴見区子どもの遊び場の遊具安全性点検等

2 今後の見込み  
1 地域の課題解決サポート事業  
(2) 鶴見区新たなチャレンジ応援事業補助金  
採択予定事業数 5件程度(予定)  
2 広場・遊び場事業  
広場の管理・今後の土地活用の検討及び遊び場の安全管理基準に適していない遊具の撤去等を実施

【実施内容】

1 地域の課題解決サポート事業  
(1) 地域の課題解決サポート事業  
地域主体での解決が困難な課題、所管機関が明確でない課題、緊急性が高い課題に対し、区が機動的に対応するための経費や、解決を図るための調査・研究費  
(2) 鶴見区新たなチャレンジ応援補助金  
地域課題の解決に向けた事業で、新たな立上げ、または既存の事業を発展させる取組の経費を補助します。

2 広場・遊び場事業  
・返還された広場(旧サムエル町のはらっぱ)の草刈り等運営管理、今後の土地活用への対応  
・区内子どもの遊び場(12か所)の遊具が安全管理基準不適合であり、事故が発生するリスクを抱えているため複数年かけて、遊具の撤去を実施

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1(1) 地域の課題解決サポート事業	1,000	3,000	△ 2,000	細目事業へ分化
1(2) 鶴見区新たなチャレンジ応援補助金	500	0	500	新設
2 広場・遊び場事業	4,500	0	4,500	新設
事業費合計	6,000	3,000	3,000	

【根拠とするデータ等】  
令和元年度実績等を踏まえ計上。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 飯島 龍 岩田 聡	係長 森 尚子 風間 梨沙	地域力推進担当・区民活動支援係 西田 あかね 小宮 翼
--------------------	--------------------	---------------------	-----------------------------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成20年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	商店街魅力発信事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,200					1,200
前年度	1,050					1,050
増△減	150	0	0	0	0	150

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,000	1,093	1,100	予算	事業費	1,200	1,200
	メリット+一般財源	1,000	1,093	1,100		一般財源	1,200	1,200
決算	事業費	849	817	300	方針に関する決裁種別( )			
	メリット+一般財源	849	817	300	有:件名( )、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	商店街を核とした地域の賑わいを創出するイベントへの支援等を通して、商店街振興を図るとともに、鶴見区の魅力を発信します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

- ・鶴見区内の商店街は、大型店舗の出店等による売上げの減少、後継者不足、空き店舗の増加等の問題に直面しています。
- ・上記の問題により、区内の多くの商店街は衰退傾向にあり、地域での商店街の存在感や認知度が薄れつつあります。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により商店街は打撃を受けており、地域の活気が低下したり、買物難民化する人々が出現するなど、区民の暮らしへの影響が懸念されます。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」
-------------	----------------------------

3 根拠法令・要綱等	鶴見区商店街魅力発信事業補助金交付要綱
------------	---------------------

【実績の推移・今後見込み】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度
実施件数	3件	3件	2件	2件

【実施内容】

- 鶴見区商店街魅力発信支援事業  
商店街と地域との結びつきを強めることで商店街振興を図るため、商店街が地域と連携した事業に補助金を交付します。
- 商店街にぎわい創出事業  
新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けた区内の商店街や店舗とともに事業を行い、にぎわいを取り戻すとともに、地域の人々に身近な楽しみを提供します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
鶴見区商店街魅力発信事業	400	1,050	△ 650	マップ作成終了による減
商店街にぎわい創出事業	800	0	800	新規
事業費合計	1,200	1,050	150	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域振興係
	岩田 聡	曾我 直樹	佐藤 あゆみ

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[ 鶴見区 区政推進 地域振興 課 ]

No. 9

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	国際交流	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名	多文化のまち・つるみ推進事業
-----	----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
4	5

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	14,326		80			14,246
前年度	14,711		80			14,631
増△減	△ 385	0	0	0	0	△ 385

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	8,749	8,808	11,616
メリット+一般財源	8,269	8,728	11,536
事業費	7,283	7,953	9,148
メリット+一般財源	7,205	7,863	9,048

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	14,326	14,326
一般財源	14,246	14,246

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
(無)

事業の概要(目的)	「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」に基づき、鶴見区の多文化共生を推進するための事業を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴見区には13,880人(2年7月末現在)の外国籍区民が住んでおり、21人に1人の割合です。過去のヒアリング調査で言葉の壁などから地域で孤立して不安を抱えて生活している実態が明らかになっています。そのため、区役所窓口での通訳サービスを充実させるとともに、外国人が母語で情報を入手できる機会の提供や、区全体で多文化共生のまちづくりを進めていくことが必要です。</li> <li>・国際交流ラウンジは、外国人区民の増加および多国籍化に伴い、日々変化する多様なニーズに対応した施設運営が求められています。また、外国人区民と接する関係組織・団体と連携して外国人区民に対応する必要があります。</li> <li>・国際交流ラウンジは、多文化共生の拠点としての機能を期待されており、より多くの区民及び関係組織・団体に認知される必要があります。そのために、ホームページやSNS等での広報・PRに力を入れていく必要があります。</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」
3 根拠法令・要綱等	横浜市国際交流ラウンジ取扱要綱、鶴見国際交流ラウンジ運営事業実施要綱等

【実績の推移・今後見込み】

- Facebook等による生活情報の発信  
英語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語、中国語(H30～)・ベトナム語、タガログ語(R元～)で、4回/月程度配信。  
Facebook:平成30年6月から配信開始。令和2年2月からベトナム語・タガログ語を配信開始。  
※メールマガジン:平成20年度開始。令和元年度をもって配信を終了し、Facebookに一本化。  
区庁舎無料Wi-Fiの提供:令和元年度から実施。

- 市民通訳ボランティアの配置  
28年度から週1回配置。区役所業務や行政情報の案内について、各課窓口にて日本語-中国語間の通訳を実施。

	29年度	30年度	元年度	2年度
対応件数	330	289	354	新型コロナウイルス感染症
1日平均件数	6.4	5.5	6.9	拡大防止のため当面の間休止

- タブレット端末による多言語対応事業  
国際局とりまとめにより5区(鶴見・神奈川・西・中・南区)で、複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスの実施(英語、中国語ほか)。

	29年度	30年度	元年度	2年度(～7月)
対応件数	127	187	207	65
1ヶ月平均件数	10.5	15	17	16

- 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業  
プロスポーツチームの外国人選手による特別訪問事業

5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

(1) 窓口相談件数

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
延件数	2,833	3,357	3,443	3,632	2,973
うち外国人からの相談件数	1,874	2,518	2,540	2,684	2,038

(2) 研修室利用人数

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
延人数	9,047	11,113	16,548	16,833	18,179

(3) 学習支援教室参加延人数

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
児童生徒数	1,025	1,072	1,346	1,517	1,543
ボランティア数	1,015	777	1,035	1,051	1,124
合計	2,040	1,849	2,381	2,568	2,667

6 多言語対応推進事業（2年度）

- (1) 各課で作成した資料の多言語翻訳7件／5～9月
- (2) 民間保育園への多言語翻訳機導入費等の補助（38園）  
区役所に多言語翻訳機導入予定（8台）

【実施内容】

- 1 Facebook等による生活情報の発信  
行政からの情報が届きにくいといわれる外国人区民への情報提供手段のひとつとして、Facebookによる情報提供を行います。また、区庁舎において無料Wi-Fiを提供します。  
（英語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語、中国語に加え、令和元年度より新たにベトナム語・タガログ語でも配信を開始）  
※メールマガジンは令和元年度をもって配信を終了し、Facebookに一本化。
- 2 市民通訳ボランティア配置業務  
鶴見区で最も数が多い中国人の母語である中国語で、区役所業務や行政情報の案内について、各課窓口で通訳を実施します。（週1回）
- 3 タブレット端末による多言語対応事業  
複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを実施します。  
（端末設置台数5台、英語・中国語ほか）
- 4 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業  
区内イベントにおいて啓発を実施します。
- 5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業 <8,910千円>  
令和2年度に続き、施設内のwi-fiを活用したオンライン会議システムによる事業実施など、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「新しい生活様式」に適応した事業実施に取り組みます。  
  - (1) 多言語による相談対応：日本語を含む多言語による相談対応
  - (2) 託児付日本語教室・ガイダンス：外国人親子を対象とした日本語教室や、日本の文化や習慣、社会制度を理解してもらうためのガイダンスの開催
  - (3) 交流・啓発：外国人と日本人の相互理解を目的とする交流会やイベントの実施
  - (4) 学習支援：日本語指導を必要とする子どもたちを対象とした学習支援教室の開催。小学生クラスと中学生クラスをそれぞれ設置し、中学生にはさまざまな学びと研修の機会も提供します。  
また、令和2年に続き、新型コロナウイルスの状況に応じてオンラインでの学習支援教室を開催します。
  - (5) 人材育成：日本語学習支援をはじめとするボランティア育成講座の開催
  - (6) 情報発信：多言語によるホームページ・SNS等での情報発信。  
（新型コロナウイルス関連情報、生活情報、区内イベント情報等）
- 6 多言語対応推進事業  
  - (1) 各課において作成した資料等の多言語翻訳について、一括契約を行います。
  - (2) 多言語翻訳機を導入します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 Facebook等による生活情報の発信	1,344	2,054	△ 710	ホームページ掲載による減
2 市民通訳ボランティア配置業務	900	900	0	
3 タブレット端末による多言語対応事業	500	500	0	
4 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業	346	345	1	元年度契約に基づく増
5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業	8,910	8,586	324	終了した区局連携事業分の増
6 多言語対応推進事業	2,326	2,326	0	
事業費合計	14,326	14,711	△ 385	

【根拠とするデータ等】

横浜市区別外国人人口(令和2年7月末現在)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	飯島 龍 岩田 聡	係長	飯田 俊輔 風間 梨沙	企画調整・区民活動支援 係 伴 紗英子 高橋 未来子
	( 鶴見 区 - 9 )				

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	鶴見区民まつり支援事業
-----	-------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,700					3,700
前年度	3,700					3,700
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	5,970	5,200	5,600	予	事業費	3,700	3,700
算	メリット+一般財源	5,970	5,200	5,600	算	一般財源	3,700	3,700
決	事業費	4,679	5,200	2,600	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	4,679	5,200	2,600	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			

事業の概要 (目的)	区民が鶴見区に親しみ、愛着を深めるため、子どもからお年寄りまで幅広い年代の区民が気軽に参加できる地域交流の場として区民まつりの開催を支援します。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等  
 地域への愛着を深め区民の一体感を醸成していくことは、地域の活性化につながります。そのためにはイベント当日だけでなく、その準備過程において地域が関わり、主体的に盛り上げていくことが重要です。鶴見区は、まつりにより区民相互及び行政を含めた連携を作ってきましたが、実行委員会の実行力やノウハウは各まつりで差があります。また、実行委員会の構成メンバーが年々高齢化しており、行政側の支援範囲が拡大傾向にあります。今後も地域に根差した区民まつりを継続していくためには、地域における若い担い手の発掘や育成を検討していく必要があります。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安全・安心かつ安定的にまつりの体制を維持する必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	4 地区懇談会		
-------------	------------	---------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」
-------------	----------------------------

3 根拠法令・要綱等	鶴見区民フェスティバル事業補助金交付要綱
------------	----------------------

【実績の推移・今後見込み】

区民まつり	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
来場者数(人)	95,000	0	100,000

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、鶴見区民まつりは開催中止となりました。

【実施内容】

鶴見区民まつり支援  
 各実行委員会が主催となって区民主体の実施運営を支援します。  
 ・三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル (期日：5月中旬)  
 ・つるみ臨海フェスティバル (期日：10月中旬)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル	1,700	1,700	0	
つるみ臨海フェスティバル	2,000	2,000	0	
事業費合計	3,700	3,700	0	

【根拠とするデータ等】

「鶴見区民フェスティバル事業実施報告書」

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域振興 係
	岩田 聡	曾我 直樹	山口 由起子

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名	つるみクリーンタウン事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	1、3、6
12	1、2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,623					3,623
前年度	2,927					2,927
増△減	696	0	0	0	0	696

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,307	2,775	2,931	予算	事業費	3,623	3,623
	メリット+一般財源	2,307	2,775	2,931		一般財源	3,623	3,623
決算	事業費	2,247	2,426	2,231	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	2,247	2,426	2,231	有:件名( )、日付(年月)			
				無				

事業の概要(目的)	横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢プラン」の目標である3R、特にごみと資源の発生抑制による脱温暖化を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に実施する。また、地域清掃支援、ポイ捨てや喫煙禁止地区対策、不法投棄対策を実施し、「きれいな街つるみ」を実現する。道路ふれあい月間には、市民との協働による一斉清掃を行い、道路の役割や重要性のPRを行う。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等  
 分別及びリサイクルの実施については、区民に一定程度定着している。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化に伴い、家庭ごみが増加傾向であることや、外国人市民が多いことも踏まえ、分別相談、啓発を継続して実施し、あらゆる区民へ正しくご理解をいただく必要がある。  
 また、プラスチックごみや食品ロスの削減も重要な課題であることから、フードドライブの推進や土壌混合法の普及啓発、プラスチックごみ削減に向けた啓発や、地域における清掃を支援するクリーンキャンペーン等を中心に、市民、事業者、関係局区と連携して取り組む必要がある。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情		
-------------	------------	------	--	--

2 運営方針等との関係  
 令和2年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」

3 根拠法令・要綱等  
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、横浜市廃棄物等の減量化及び適正処理に関する条例、横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例、横浜市一般廃棄物処理基本計画、横浜市環境事業推進委員会要綱、鶴見区美化推進員要綱、鶴見川桜・緑化実行委員会活動補助金交付要綱、「道路ふれあい月間」実施要綱(国土交通省通知)等

【実績の推移・今後見込み】  
 イベント等におけるPR活動、保育園等での環境学習等の啓発活動を、区民、事業者等の協力を得ながら展開している。また、地域による清掃活動支援、鶴見駅周辺美化推進重点地区・喫煙禁止地区内におけるポイ捨て・喫煙禁止条例の周知・啓発を継続する。不法投棄対応及び防止啓発についても、引き続き実施する。道路ふれあい月間関連事業(H26開始)については、今後も毎年実施予定。

【実施内容】  
 <<ヨコハマ3R夢推進事業>> イベント等での3R夢啓発、保育園等での環境学習、土壌混合法啓発、分別相談対応及び啓発の実施  
 <<鶴見区クリーンアップ事業>> 地域清掃活動支援のための物品配付(鶴見クリーンキャンペーン)  
 不法投棄防止・景観向上のための地域団体による花壇整備の支援(まちかど花壇事業)  
 不法投棄の通報対応、不法投棄防止啓発、喫煙禁止地区等のマナー啓発  
 地域団体による鶴見川岸の清掃活動支援(鶴見川桜・緑化実行委員会への活動補助金)  
 <<道路ふれあい月間関連事業>> 地域住民や事業者との協働による鶴見駅東口周辺や鶴見銀座商店街の打ち水・一斉清掃・道路PR活動、JR鶴見駅東西自由通路の高圧洗浄機を使用した清掃

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ヨコハマ3R夢推進事業	564	586	△22	お茶の配布取りやめによる減
鶴見区クリーンアップ事業	2,907	2,189	718	草刈作業、維持管理費増による増
道路ふれあい月間関連事業	152	152	0	
事業費合計	3,623	2,927	696	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 露木 昇 石井 純	係長 藤本 謙司 武田 貴	地域振興・管理 係 福田 理恵 宮崎 義輝
--------------------	--------------------	---------------------	-----------------------------



[ 鶴見 区 地域振興 課 ]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名
自治会町内会振興事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,400					2,400
前年度	2,037					2,037
増△減	363	0	0	0	0	363

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,734	1,752	1,961	予算	事業費	2,400	2,400
	メリット+一般財源	1,734	1,752	1,961		一般財源	2,400	2,400
決算	事業費	1,748	1,803	1,307	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,748	1,803	1,307				

事業の概要(目的)	自治会町内会との信頼関係を確保し、良好な関係を維持するため、「自治会町内会長感謝会」、「地域振興連絡事業(回覧物等の配送)」及び「地域活動支援事業」を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動の推進役、担い手が不足しています。</li> <li>地域活動の推進役の高齢化が進んでいます。</li> <li>鶴見区では自治会町内会の組織率が高く、126団体のうち124団体が鶴見区自治連合会に加入しています。</li> <li>地域活動を継続して行うことは大変負担が大きいものの長年ご尽力され、地域に貢献されている方も多くいます。</li> <li>行政関係機関から自治会町内会への依頼が多く、負担となっています。</li> <li>コロナ禍において、自治会町内会での活動が制限されています。</li> </ul>
----------	---

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望	6 区民要望	1 日常の窓口対応等
-------------	-------------	--------	------------

2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 1 「地域力の強化」
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例、鶴見区自治会町内会長永年在職者表彰要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

町内会長表彰者実績	令和元年度 (17名)
	令和2年度 (22名) ※予定
	令和3年度 (23名) ※予定

【実施内容】

- 自治会町内会長感謝会
  - 期日 令和4年3月上旬～中旬予定
  - 会場 鶴見区内の会場
  - 内容 永年在職者の表彰・記念品の贈呈、区長等市役所職員との懇談
- 地域振興連絡事業 地域への依頼・連絡事項等の資料(回覧物等)を各自治会町内会(126町会)へ配送する。(8月を除き毎月実施。11回)
- 地域活動支援事業 コロナ禍において、自治会町内会での活動が制限されている中、ICTを活用した会議支援など地域活動を継続するサポートを行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
自治会町内会長感謝会	930	895	35	対象人数等による増
地域振興連絡事業	1,155	1,142	13	元年度実績に基づく増
地域活動支援事業	315	0	315	新規事業
事業費合計	2,400	2,037	363	

【根拠とするデータ等】

市民局調査「自治会町内会実態調査」(平成28年度アンケート)、「自治会町内会加入状況」(平成31年4月1日時点)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域振興 係
	岩田 聡	曾我 直樹	山口 由起子

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	防災活動推進事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	13,373					13,373
前年度	12,162					12,162
増△減	1,211	0	0	0	0	1,211

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	10,507	10,389	14,011	予算	事業費	13,373	13,373
	メリット+一般財源	10,507	10,389	14,011		一般財源	13,373	13,373
決算	事業費	12,423	9,833	15,242	方針に関する決裁種別( ) 有:件名 ( )、日付 ( 年 月 ) 無			
	メリット+一般財源	12,423	9,833	15,242				

事業の概要(目的)	風水害、地震及び都市災害等の災害時に備え、地域における自助・共助の取組促進、地域防災拠点及び区本部機能の強化、関係防災機関等との連携強化を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	地震及び風水害等の被害を出来る限り最小限にする減災に向けた防災意識向上を含めた様々な取組を推進するとともに、実災害時に対応するための感染症対策を踏まえた区本部機能の強化を図ります。 出入国管理に関する法律改正に伴い、外国人居住者増加による外国人のための「自助・共助」を主体とした防災力向上の啓発を行います。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市震災対策条例、横浜市災害対策本部条例、横浜市防災計画、鶴見区防災計画、横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例、共助のための防災活動補助金要綱、鶴見区防災会議要綱、鶴見区水防協議会補助金交付要綱、※横浜市計画
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

- 防災イベントや地域啓発を行うこと及び地域の防災活動を積極的に支援することにより、区民の防災意識の向上が図られるとともに、自助・共助の取組が推進されます。
- 風水害、地震、都市災害などに対応するための感染症対策を踏まえた区本部機能の強化が図られます。
- 地域における風水害、地震等の防災知識の普及啓発が進められ、地域防災力の向上が図られます。

【実施内容】

- 自助・共助の推進
  - 自助・共助の取組推進
    - ア 啓発イベント等による防災啓発
    - イ 共助のための防災活動支援事業
  - 地域防災拠点の運営力強化
    - ア 感染症対策用品の購入
    - イ 資機材の点検・修繕
    - ウ 地域防災拠点担当者の研修実施
  - まるごとまちごとハザードマップ更新
- 区本部等強化事業
  - 災害対策本部訓練及び区役所職員体制維持
    - ア 災害時に備えた連絡体制の確立、区役所職員の災害時対応力向上のための訓練費用
    - イ 感染症対策における避難所拡充及び運営体制強化
  - 水防協議会補助金
 

鶴見区水防協議会への補助金の交付を行います。水防協議会の活動は、鶴見川の水害時における被害防止活動や被害者の生活援助活動、水害対策訓練、啓発活動等を行っていますが、流域住民の新たな要望となる高齢者等、災害時要援護者避難支援活動の一部を水防団（消防団）が担うなどの調整を進め、災害発生時の水防対策の強化を図ります。
  - つるみ生活・防災マップの印刷  
つるみ生活・防災マップの更新、印刷及び多言語版の作成
  - 情報受伝達体制の強化
 

区本部と避難場所との情報受伝達体制の強化として、IP無線機を追加購入します。また、土砂災害警戒情報発表に伴い即時避難勧告対象区域への避難勧告発令の伝達を迅速化するため、緊急時情報一斉伝達システムの発信対象者を拡充します。



3 災害時医療体制推進事業

- (1) 災害時医療体制の確保  
 (2) 区内医療機関、関係団体及び地元町内会等と連携した災害医療訓練の実施

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
<b>1 自助・共助の推進</b>				
(1) 自助・共助の取組促進	300	300	0	
(2) 共助のための防災活動支援事業	1,200	1,200	0	
(3) 地域防災拠点の充実強化	2,820	2,000	820	前年度実績に基づく増
(4) 防災啓発フォローアップ	3,288	434	2,854	まるごとまちごとハザードマップ更新による増
<b>2 区本部等強化事業</b>				
(1) 本部訓練及び体制維持	3,188	1,956	1,232	通信運搬費増による増
(2) 鶴見区防災会議	15	15	0	
(3) 水防協議会補助金	200	200	0	
(4) 防災計画の印刷	0	1,000	△ 1,000	印刷完了による減
(5) 生活・防災マップ	1,371	4,321	△ 2,950	一部発行完了による減
<b>3 「災害時医療体制」推進事業</b>	991	736	255	
事業費合計	13,373	12,162	1,211	

【根拠とするデータ等】

横浜市防災計画【震災対策編】、横浜市防災計画【風水害対策編】、横浜市防災計画【都市災害対策編】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務・企画運営 係
	柏木 利明 市川 裕章	溝口 隼也人 熊田 充浩	緑川 泰輝 松本 貴春

( 鶴見 区 - 13 )

[ 鶴見 区 地域振興 課 ]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	------	--------	--------

事業名	放置自転車対策事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,650					5,650
前年度	6,650					6,650
増△減	△ 1,000	0	0	0	0	△ 1,000

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	6,310	6,430	6,970	予算	事業費	5,650	5,650
	メリット+一般財源	6,310	6,430	6,970		一般財源	5,650	5,650
決算	事業費	6,032	5,974	6,094	方針に関する決裁種別( )			
	メリット+一般財源	6,032	5,974	6,094	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	駅周辺の安全を確保し、安心できるまちづくりを進めるため、自転車等放置防止推進協議会の活動を支援するとともに、放置自転車等の対策を行います。
-----------	---

(説明)				
1 地域の課題等	JR鶴見駅及び京急鶴見駅周辺は、歩道等に放置自転車が一定程度あるものの、監視員の配置・啓発や、撤去・移動を継続して実施することにより、極端に増えることなく推移している状況です。引き続き、昼夜を通じた監視・啓発や、撤去・移動を行う道路局との連携により、放置防止対策をしていく必要があります。			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	7 関係団体からの要望	
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」			
3 根拠法令・要綱等	横浜市自転車等の放置防止に関する条例、同施行規則 鶴見区自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱ほか			
【実績の推移・今後見込み】				
①放置禁止区域内重点対策：放置自転車の監視員を配置 ②自転車等放置防止推進協議会活動補助金交付				
【実施内容】				
①放置禁止区域内重点対策：JR鶴見駅、京急鶴見駅周辺の放置自転車監視を実施 ②自転車等放置防止推進協議会活動補助金交付：JR鶴見駅、京急鶴見駅、矢向駅、尻手駅、生麦駅、鶴見市場駅の各協議会に補助金を交付し、活動を支援する				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
放置自転車禁止区域重点対策	5,010	6,010	△ 1,000	撤去作業委託及び在庫活用による減
自転車等放置防止推進協議会補助金	640	640	0	
事業費合計	5,650	6,650	△ 1,000	
【根拠とするデータ等】				
道路局元年11月調査「横浜市内137駅周辺の放置自転車等の実態について」				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩田 聡	係長 曾我 直樹	地域振興係 福田 理恵
--------------------	------------	-------------	----------------

[ 鶴見 区 地域振興 課 ]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	------	--------	-------

事業名 交通安全推進事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号   主な施策番号	事業評価 書番号   該当なし
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,380					2,380
前年度	2,298					2,298
増△減	82	0	0	0	0	82

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,310	2,328	2,054	予算	事業費	2,380	2,380
算	メリット+一般財源	1,310	2,328	2,054	算	一般財源	2,380	2,380
決算	事業費	1,615	2,504	1,829	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、目付( 年 月 ) 無			
算	メリット+一般財源	1,615	2,504	1,829				

事業の概要 (目的)	区民が中心となって安全で安心なまちづくりに向け、関係機関と連携し、区内で交通安全の啓発活動を推進すると共に、子どもの交通事故防止のためスクールゾーン内の安全確保を図ります。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等  
交通事故の発生件数は減少傾向にある一方、高齢者の事故、自転車による事故は増加傾向にあります。また、鶴見区は自転車事故の割合が多く、神奈川県より平成27年から5年連続「自転車事故多発地域」に指定されています。このため、特に、自転車利用者への啓発に重点を置き、自転車事故防止に努めることが急務です。  
また、高齢者や子どもの安全確保など、地域課題や多様化するニーズにきめ細かく対応するためには、地域ぐるみの交通安全対策が不可欠です。  
子どもの交通安全対策では、区内22の小学校において、スクールゾーン内の安全確保・維持のため、各校に設置されているスクールゾーン対策協議会の活動を継続的に支援するとともに、必要な安全対策を講じることが重要です。  
さらに、交通安全等鶴見区の安全・安心なまちづくりに向け、地域をはじめ、鶴見警察署、鶴見交通安全協会、鶴見安全運転管理者会等関係機関と十分連携し、取り組むことが必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望		
-------------	------------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係  
令和2年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」

3 根拠法令・要綱等  
交通安全対策基本法、横浜市交通安全対策協議会会則、違法駐車追放地区協議会設置要項、違法駐車追放地区活動補助金要綱、スクールゾーン推進組織助成金交付要綱、通学路標識設置要領、スクールゾーン路面標示設置要領、スクールゾーン電柱巻標識取付要領

【実績の推移・今後見込み】  
(1)区交通安全功労者表彰の実施  
令和元年度は、21人、8団体を顕彰しました。  
(2)交通安全啓発活動  
各季交通安全運動・強化月間の期間中、地域、関係機関と連携し、街頭キャンペーン等啓発活動を実施しました。こどもや高齢者を対象に、交通安全教室・講習を開催しました。(小学生を対象とした交通安全教室22校、高齢者交通安全講習7回)  
(3)スクールゾーン対策  
区内22小学校のスクールゾーン対策協議会ごとに助成金を交付するとともに、スクールゾーン内の安全点検を行いました。(標示、安全標識等の新設・補修)  
【実施内容】  
(1)交通安全啓発事業:各季交通安全運動でのキャンペーン実施。年2回の区交通安全対策協議会の運営。交通安全功労者表彰の実施。子どもや高齢者を対象とした交通安全講習会の実施。(小学生を対象とした交通安全教室22校、高齢者交通安全講習7回)  
(2)スクールゾーン対策事業:区内22小学校に設置しているスクールゾーン対策協議会の円滑な運営を支援するために助成金を交付します。また、児童等の安全確保のため、土木事務所と連携し、道路標示等の新設・補修・撤去を行います。  
(3)小学一年生へのランドセルカバー配布

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
交通安全啓発活動	480	426	54	安全対策物品購入等による増
区交通安全功労者表彰	80	52	28	表彰費の増
スクールゾーン対策	1,820	1,820	0	
事業費合計	2,380	2,298	82	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域振興 係
	岩田 聡	曾我 直樹	相原 洋三

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	鶴見区防犯活動支援事業
-----	-------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,989	特殊詐欺被害防止対策事業費補助金 440				2,549
前年度	2,238	0				2,238
増△減	751	440	0	0	0	311

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,011	2,067	2,243	予算	事業費	2,989	2,989
	メリット+一般財源	2,011	2,067	2,243		一般財源	2,549	2,549
決算	事業費	1,899	1,816	2,162	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,899	1,816	2,162	有:件名( )、日付(年月)			

(無)

事業の概要(目的)	地域防犯力の向上を目的として、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	毎年行われている市民意識調査において、鶴見区では「今後、充実すべきだと思う公共サービス」で「防犯対策」が上位になるなど、防犯対策に対する区民の関心や要望が高い状況です。また、最近では特に振り込め詐欺の手口が複雑・多様化・巧妙化し、キャッシュカードすり替え型等、新たな特殊詐欺が多発しているため、引き続き区民への注意喚起が必要です。			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	5 区民アンケート	
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」			
3 根拠法令・要綱等				

【実績の推移・今後見込み】

	H29	H30	R元
鶴見区内犯罪発生件数	1,569件	1,439件	1,164件
振込詐欺被害額	2億8081万円	2億1757万円	2億396万円

【実施内容】

- 防犯啓発活動
  - 防犯リーダー研修会  
地域の防犯リーダーの資質向上と地域による自主防犯活動の拡大のため、防犯リーダー研修会を開催します。  
講座実施回数：地域防犯を主なテーマとして講師を招いて1講座  
対象：自治会町内会の防犯部、自主防犯パトロール隊など
  - 犯罪発生・防犯情報の提供  
Eメールによる犯罪情報の提供を引き続き実施するとともに、区民向け防犯に関する情報のPRを行います。
  - 振り込め詐欺の注意喚起  
警察と連携した注意喚起チラシ・啓発物品の作成等により、区民へ注意喚起を実施します。
- 子ども防犯活動支援事業
  - 「防犯教室」支援事業  
「子どもへの犯罪」をテーマに、児童生徒を対象とした「防犯教室」の開催を支援します。
  - 「子ども110番の家」推進事業  
「子ども110番の家」の活動支援を継続します。
  - 「地域における見守り活動」支援事業  
学校等と連携し、小学校下校時における見守り活動を実施します。
- 地域防犯活動支援事業
  - 防犯パトロール活動支援  
地域の防犯パトロール活動用の防犯物品を提供し、活動を支援します。
  - 防犯パトロール実施委託  
事業委託により、防犯パトロールを実施します。
  - 迷惑電話防止機器の貸与  
振り込め詐欺対策のため、迷惑電話防止機器を貸与します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
防犯啓発活動	63	85	△ 22	振込詐欺啓発方法の変更
子ども防犯活動支援	310	255	55	子ども防犯教室の開催増
地域防犯支援事業	2,616	1,868	748	振込詐欺対策の強化
まちの安全推進事業	0	30	△ 30	事業廃止
事業費合計	2,989	2,238	751	

【根拠とするデータ等】

鶴見区内犯罪発生状況（神奈川県警）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域振興係
	岩田 聡	曾我 直樹	佐藤 あゆみ

( 鶴見 区 - 16 )

[ 鶴見区 地域振興課 ]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習 文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	-----------------	--------	-------

事業名	地域文化・区民活動推進事業
-----	---------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	3,5
33	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,859		88			2,771
前年度	2,846		88			2,758
増△減	13	0	0	0	0	13

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	2,759	3,331	2,856	予	事業費	2,859	2,859
算	メリット+一般財源	2,759	3,331	2,856	算	一般財源	2,771	2,771
決	事業費	2,720	3,209	2,773	方針に関する決裁種別( )			
算	メリット+一般財源	2,720	3,209	2,773	有:件名( )、日付(年月)			
				無				

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴見区文化協会が主催する区民文化祭への補助金交付等を通じて、区民が文化や芸術に触れる機会を設けるとともに区内の文化活動を推進します。</li> <li>・区民の自主的な活動を推進するため、学びや活動のきっかけづくり、活動及び発表の場の提供等、活動の段階に応じた多様な支援を行います。</li> <li>・全ての区民が読書に親しめるよう、また様々な課題解決につなげられるよう、身近な施設や多様な団体・区民の力をあわせ、地域全体で読書活動推進の取組を推進します。</li> </ul>
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	<p>・様々な文化活動を行う団体・区民に発表の場を提供するとともに、多くの区民に気軽に文化・芸術に触れる機会を提供する必要があります。</p> <p>・多様化する地域課題の解決や地域活性を図るために、区民による自発的な学びや自立した地域活動に対して支援するとともに、活動の担い手の発掘・育成を進めていく必要があります。</p> <p>・「第二次鶴見区読書活動推進目標」に基づき、幅広い世代を対象にした取組を進めるとともに、鶴見区らしい多文化共生の視点を取り入れ、地域全体で豊かな読書活動の場を醸成する必要があります。</p>

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」
-------------	----------------------------

3 根拠法令・要綱等	鶴見区民文化祭補助金交付要綱 教育基本法、社会教育法、横浜市生涯学習推進指針、第3次横浜市生涯学習基本構想
------------	--

【実績の推移・今後見込み】					
1 地域文化推進事業					
	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
区民文化祭の来場者数(人)	7,979	7,483	8,399	9,798	9,579
2 つるみ区民活動センター事業					
(1) つるみ区民活動センター利用実績					
	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
相談件数	645	744	657	531	438
機材貸出	989	615	758	719	570
ミーティングコーナー利用者	3,016	3,586	4,352	5,003	4,198
会議室利用者	632	795	999	929	799
登録団体数	73	80	82	81	87
(2) 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」実績					
	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
登録者・団体数	240	242	222	233	242
利用件数	143	158	94	113	83

【実施内容】	
1 地域文化推進事業	<p>鶴見区民文化祭の開催に対して補助金を交付します。主催団体と協議の上、新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、国等の方針に基づいた実施方法および開催イベントの変更を行います。</p> <p>日程：令和3年9月～12月</p> <p>会場：鶴見区民文化センター、鶴見公会堂、鶴見中央コミュニティハウス、鶴見区役所等</p> <p>出展者数：延1,000人（令和元年度実績に基づく。新型コロナの状況によっては減の可能性が有ります。）</p> <p>来場予定者数：延10,000人（同上）</p> <p>主な内容：作品展、音楽・踊り等の発表、小中学校音楽祭・作品展、バザー</p>

2 つるみ区民活動センター事業

区民のニーズや地域の魅力と課題を理解し、地域に密着した地域活動・区民活動等への支援を行うとともに、公的な中間支援組織として、区民利用施設間の連携・協力を促進します。また、生涯学習・社会教育を推進するため、広く区民を対象とした学びの場を提供します。令和2年度に続き、オンライン会議システムの活用など、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「新しい生活様式」に適應した事業実施を進めます。

(1) 講座・イベント

- ・生涯学習・社会教育推進講座「つるみMACHI塾」  
区民企画による、鶴見区の歴史や文化など、区の様々な魅力を学ぶ講座を実施します。(実施計8回)  
区民向けの「生涯学習講座企画ワークショップ(仮)」を実施し(全2回)、その後、区民の企画による生涯学習講座を実施します。(全6回)また、講座については、令和2年に続き、オンラインでの受講可とします。
- ・市民活動紹介パネル展「鶴魅力」  
登録団体の活動を紹介するパネル展及び登録団体の交流会を開催します。(実施1回)
- ・生涯学習ボランティア鶴見人ネット紹介展「鶴見人ネットフェスタ(仮称)【新規】」  
鶴見人ネットの登録者を紹介するイベント及び登録者向けの研修を実施します。(実施1回)

(2) 区民利用施設間の連携強化

地域における課題を共有し、課題解決に向けた取組を支援していくために、区民利用施設のスタッフ向け研修会や意見交換会を開催して区内の施設間連携を進めていきます。(実施2回)

(3) 相談・コーディネート

- ・生涯学習や区民活動に関する相談・支援
- ・生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」の派遣相談・コーディネート

(4) 登録・情報提供

- ・市民活動団体の利用登録及び活動紹介
- ・生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」の登録及び活動紹介
- ・情報紙「あぶりお」の発行(1,500部×6回発行)
- ・ホームページの運営

(5) その他活動支援

- ・ミーティングコーナーの提供
- ・会議室の提供
- ・登録団体への機材貸出

3 読書活動

読書推進に関する講演会や講座を開催します。

日程：2月予定(つるみ読書講演会)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域文化推進事業	1,600	1,600	0	
2 つるみ区民活動センター事業	1,059	996	63	自主事業の内容変更による増
3 読書活動推進事業	200	200	0	
4 一時託児推進事業	0	50	△ 50	開催年度でないことによる減
事業費合計	2,859	2,846	13	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動支援係 係 高橋 未来子 塩田 賢一
	岩田 聡	風間 梨沙 塩田 賢一	

[ 鶴見区 地域振興 課 ]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	---------	--------	-------

事業名	区民スポーツ振興事業
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,050					1,050
前年度	1,050					1,050
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	事業費	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
		2,695	2,239	1,050		予算	1,050
予算	メリット+一般財源	2,695	2,239	1,050	一般財源	1,050	1,050
決算	事業費	2,691	2,232	1,050	方針に関する決裁 種別( )		
決算	メリット+一般財源	2,691	2,232	1,050	有:件名( )、日付(年月)		

無

事業の概要(目的)	区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会の実施などスポーツの普及・振興を進めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

【鶴見区体育協会】子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しめるよう、身近な地域での普及活動を支援する必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係

令和2年度区運営方針 2「区内経済・活力の向上」

3 根拠法令・要綱等

鶴見区体育協会補助金交付要綱  
鶴見区ランニングフェスタ事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 鶴見区体育協会

平成23年6月に団体規約の改正がなされ、事務局機能の強化が進みました。規約の改正に併せて、組織の見直しを行い、各加盟団体による事務作業の分担を進めています。

加盟団体数及びスポーツ大会数の推移

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込
加盟団体数	24	24	24	24	24
スポーツ大会数	47	47	42	32	45

※令和3年度の見込は過去3年間の平均値

2 鶴見区ランニングフェスタ

申込数の推移

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込
申込件数	115件	186件	238件	中止	333件
参加人数	164人	255人	329人	中止	460人

※令和3年度の見込は過去3年間の増加率を基に算出

【実施内容】

1 鶴見区体育協会活動経費

550千円

- (1) 区民スポーツ大会・講習会・教室等の実施  
大会・教室等：約40回 参加者数：約15,000人
- (2) 区民スポーツ奨励賞の贈呈

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
全国大会入賞者等	9件	7件	5件	2件
貢献者等※	0件	1件	0件	1件

※長年にわたり区内のスポーツ発展に貢献された方へ贈呈しています。

2 鶴見区ランニングフェスタ開催支援

500千円

鶴見区ランニングフェスタ開催を支援するため補助金を交付します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
体育協会活動経費	550	550	0	
鶴見区ランニングフェスタ開催支援	500	500	0	
事業費合計	1,050	1,050	0	

【根拠とするデータ等】

鶴見区体育協会収支決算報告書、鶴見区体育協会加盟団体事業報告書  
鶴見区ランニングフェスタ事業実績報告書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩田 聡	係長 塩田 賢一	区民活動支援 係 大垣 賢矢
--------------------	------------	-------------	-------------------



[ 鶴見 区 地域振興 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成6年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名
青少年健全育成事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,143					2,143
前年度	2,013					2,013
増△減	130	0	0	0	0	130

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	4,165	4,645	2,013	子	事業費	2,143	2,143
	メリット+一般財源	4,165	4,645	2,013	算	一般財源	2,143	2,143
決算	事業費	4,058	4,469	1,900	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	4,058	4,469	1,900	有:件名( )、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	青少年の健全育成を図る団体に対し補助金を交付し、鶴見区における青少年の健全育成を推進します。 また、地域社会の中に青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、青少年育成に対する地域の輪を広げる取組を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	昨今、社会環境の変化によって、青少年が地域の大人や異世代と交流することや、様々な体験活動をする機会が減少しており、関係性の喪失や体験不足が懸念されています。そのため、多様な人との関わりの中で、自主性やコミュニケーション能力、自己肯定感を育み、青少年が自らの生き方を考え、進路選択する力を身に付けられるよう、地域全体で青少年を育てる環境を整えることが必要です。 また、青少年を取り巻く課題に対し、地域の中で早期発見・早期支援を実現するために、青少年育成に関わる人材の育成を支援するとともに、青少年が安心して過ごせる居場所の創出や、学校、家庭、地域、活動団体、行政の連携を強化することが必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」
3 根拠法令・要綱等	鶴見区子どもサマーキャンプ補助金交付要綱、つるみ子育て・個育ちフォーラム事業補助金交付要綱、鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度(見込み)	R3年度(見込み)
サマーキャンプ参加者	53	63	62	60	63	0	60
子育て・個育ちフォーラム来場者	約2,500	約2,500	約2,500	約2,500	約2,600	約100	約2,600
サイエンス交流事業参加者	150	47	70	70	75	15	70

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、サマーキャンプは中止、子育て・個育ちフォーラム及びサイエンス交流事業は縮小開催となりました。

【実施内容】

- 青少年交流活動推進事業
  - 鶴見区子どもサマーキャンプ  
区内の中高生からなるジュニアリーダーによる地域の青少年交流活動の促進を目指し、区内小学生とジュニアリーダーがキャンプ等の交流の機会を通して、互いに成長する機会を創ります。  
実施時期：令和3年7月～8月
  - 青少年育成サイエンス交流事業  
横浜サイエンスフロンティア高等学校と連携し、小学生対象の科学教室を開催し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と高校生との異年齢交流により、ともに育ち合う機会を創ります。  
実施時期：令和3年8月～12月、年2回

2 つるみ子育て・個育ちフォーラム支援事業

「つるみ子育て・個育ちフォーラム」（年1回）の開催に向け、区内の青少年に関わる団体・機関からなる運営委員会に対し補助金を交付します。

実施時期：令和3年11月

<関係団体機関名>令和2年度

鶴見区自治連合会、鶴見区青少年指導員協議会、鶴見区子ども育成会連絡協議会、鶴見区主任児童委員連絡会、鶴見少年補導員連絡会、鶴見区PTA連絡協議会、鶴見区更生保護女性会、鶴見区社会福祉協議会、横浜市鶴見図書館、鶴見区放課後児童クラブ（学童保育）、区内公立保育園、鶴見区食生活等改善推進委員会、鶴見区民生委員児童委員協議会、鶴見区地域子育て支援拠点「わっくんひろば」、鶴見区保育ボランティア連絡会、鶴見区子育て教育懇談会、横浜きた・おやこ劇場、知的障害児者親の会「ひよこ会」、劇団「ポケット」、つるみプレイパーク、つるみどりプロジェクト・NPO法人サードプレイス、NPO法人子どもと共に歩むフリースペースたんぼぼ、鶴見けん玉クラブ、遊びの島、かがやきクラブ鶴見（老人クラブ）、鶴っこショップ、音色座、地域訓練会「エンゼルの会」、「2+α」、紙芝居つるかめ座、つるみ“ままつぶ”を作る会、鶴見区子育て支援者、つるPaPa、区民講師・区民有志

3 青少年の居場所運営支援事業

民間主体の居場所実施の取組に対し補助金を交付し、支援します。

【令和2年度実績：5箇所】別所自治会文化部：熊神で遊ぼう（熊野神社）、

つるみ子育て・個育ちフォーラム運営委員会：子どもと若者のひろばアソViva！（寺尾地区センター、潮田公園コミュニティハウス、末吉地区センター）、

特定非営利活動法人サードプレイス：地区センカフェ（寺尾地区センター）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青少年交流活動推進事業	763	763	0	
つるみ子育て・個育ちフォーラム支援事業	650	650	0	
青少年の居場所運営支援事業	730	600	130	申請数の増
事業費合計	2,143	2,013	130	

【根拠とするデータ等】

鶴見区子どもサマーキャンプ報告書、青少年育成サイエンス交流事業報告書、第19回つるみ子育て・個育ちフォーラム報告書、令和元年度青少年の居場所づくり活動補助金審査会資料

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動支援 係
	岩田 聡	塩田 賢一	塩田 賢一

[ 鶴見 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
つるみDE子育て応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	2
23	3
23	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,117					3,117
前年度	3,315					3,315
増△減	△ 198	0	0	0	0	△ 198

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	4,456	3,739	3,465	予算	事業費	3,117	3,117
	メリット+一般財源	4,456	3,739	3,465		一般財源	3,117	3,117
決算	事業費	3,024	2,320	3,116	方針に関する決裁 種別( )			
決算	メリット+一般財源	3,024	2,320	3,116	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	「地域の子育て支援」を充実させ、家庭・地域の育児力を高めます。
-----------	---------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化が進み地域のつながりが希薄化する中、鶴見区は子育て世代の転入も多く、子育ての不安を抱える妊婦・母親が増加しています。また、育児経験が乏しく、インターネット等の情報が氾濫していることも不安を助長しています。そのため、子育ての相談・学習する機会を作ることで、地域で子育てを支援する「人」や「場所」へつなげ、孤立化予防・子育ての不安を軽減していくことが重要です。</li> <li>・鶴見区は出生数及び就学前児童数が市内で2番目に多く、保育所定員数も市内で2番目に多い状況です。また、待機児童及び保留児童を抱えている状況でもあります。幼稚園や地域給付型事業等の利用希望をする方の申請が増えることが予想されており、区民へ確実に情報を届ける必要があります。</li> <li>・鶴見区は市内で2番目に外国籍の居住者が多い区です。保育園の入園児、その保護者にも外国籍の方が多く、平易な概要については理解していただいても、制度の詳細や具体的な手続きの説明が困難な場合が多くある状況です。</li> </ul>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度		
-------------	------------	----------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」
-------------	----------------------------------

3 根拠法令・要綱等	母子保健法、子ども・子育て支援法
------------	------------------

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み
育児教室	6,168人	5,858人	4,737人	3,410人	5,160人(※2,580人)

・新型コロナウイルスの影響で、令和2年3月から6月まで育児教室は中止になりました。  
 令和2年7月より、入場者数制限を設けた上で再開しています。  
 ※新型コロナウイルス対策による入場者数制限を継続した場合

【実施内容】

- 地域育児教室  
区内21か所、原則第1子の0歳児とその保護者を対象に、月1回程度開催しています。(200回予定)  
栄養士や歯科衛生士、消防士等を講師としての学習や、仲間づくりを通して育児不安の軽減を目指します。
- 親子の居場所  
親子が気軽に立ち寄れるふらっとる一むと連携し、地域の中での親子の居場所活動を充実させていきます。
- 子育て応援情報冊子作成  
子育て関連施設などの情報を広く発信するため、印刷物を作成・配布します。また、今年度は地域子育て支援拠点「わっくんひろば」が主体となり、利用者目線に立った内容になるよう、紙面の充実を目指します。
- 多言語窓口子育て事業  
多国籍の区民に丁寧な案内ができるよう、母子手帳交付時にご覧いただく動画の外国語版を作成します。
- 区長表彰事業  
スポーツ・文化の分野において活躍した児童・生徒を表彰することで、今後の活動の活力向上など児童・生徒の健全育成を推進します。
- 放課後児童健全育成事業  
放課後児童の居場所をより安全、安心、居心地の良い場所にするため、放課後児童健全育成事業に従事している職員に対し研修を行うことで、知識の習得及び意識の向上を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域育児教室	954	909	45	コロナ対策のための購入物増
親子の居場所普及事業	59	59	0	
子育て応援冊子作成	1,270	1,330	△ 60	発行部数減による印刷製本費減
多言語窓口子育て支援事業	340	423	△ 83	発券機リース終了による減
区長表彰事業	294	294	0	
放課後児童健全育成事業	200	300	△ 100	研修回数の減
事業費合計	3,117	3,315	△ 198	

【根拠とするデータ等】

子ども青少年局職員研修講師支払基準、H30・R1実績値

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭係
	御小柴 朋子	那須 康二	松尾 泰志

( 鶴見 区 - 20 )

[ 鶴見 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	つるみの未来を育てる保育所事業
-----	-----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,634					3,634
前年度	3,800					3,800
増△減	△ 166	0	0	0	0	△ 166

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,531	3,606	3,552	予算	事業費	3,634	3,634
	メリット+一般財源	3,531	3,606	3,552		一般財源	3,634	3,634
決算	事業費	2,520	2,311	2,905	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	2,520	2,311	2,905				

事業の概要(目的)	保育所に係る園児、職員及び未就学園児等を支援する事業を展開します。
-----------	-----------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<p>1. 外国籍の保護者・児童の状況 鶴見区は市内で2番目に外国籍の居住者が多い区である。保育園の入園児、その保護者にも外国籍の方が多く、平易な概要については理解していただいても、園児が円滑な保育園生活を送るための日常的なやりとりには困難がある。また、一時保育や園見学に来る外国籍の方について説明を行う際にも理解が行き届いていない様子が多く見受けられる。</p> <p>2. 保育所資源の活用状況と質の向上 市立保育所を活用したネットワーク事業における育児支援イベントによる保育所資源の活用のほか、保育所では入所児童以外を対象として、園庭開放や育児相談等地域支援事業を各種展開しているが、継続した支援が難しいことや、参加者数の更なる増加が望ましい。 また、鶴見区は配慮を必要とする園児の入所が多く、市立、私立を問わず、どの保育園においてもその対応が課題となっている。このような状況のなか、受入側の保育所職員の質の高い保育の提供が求められている。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」
-------------	---------------------------------

3 根拠法令・要綱等	「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」「横浜市認定子ども園及び保育所地域子育て支援事業実施要綱」「横浜市認定子ども園及び保育所地域子育て支援事業実施要領」
------------	--

【実績の推移・今後見込み】	<p>1. 保育所多文化共生事業 本市の外国人人口割合は今後も増加していくことが想定され、円滑なコミュニケーションの確保および多文化理解への取組については、より取組を強化する必要がある。 【参考】事業実績（平成29年度：多文化かるた作成、平成30年度：絵カード作成、令和元年度：多言語版ごみの分別絵本作成）</p> <p>2. 保育所資源活用事業 入所児童以外を対象として行う園庭開放では、継続した支援を行うためにさらなる充実を図る必要がある。 【参考】園庭開放実施回数（平成29年度：418回、平成30年度：403回、令和元年度：341回）</p> <p>3. 図書を活用した地域子育て支援事業 平成26年4月より、「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」が施行され、それに基づき「横浜市民読書活動推進計画」が策定された。子育て中の親子にとっての読書に触れられる場所として保育所を今後より一層活用していく必要がある。 【参考】お話し会等実績（平成29年度：248回、平成30年度：228回、令和元年度：236回） 絵本等貸し出し実績（平成29年度：8,117冊、平成30年度：6,799冊、令和元年度：6,998冊）</p>
---------------	---

【実施内容】

1. 保育所多文化共生事業  
 内容：市立保育所では、多文化理解のために児童向け多文化冊子を作成し、民間保育所とも共有することで、保育に役立ててもらおう。さらに、多文化理解につながる研修を実施する。
2. 保育所資源活用事業  
 ア 保育所園庭開放の充実  
 内容：保育所施設や人材を生かして地域の子育て支援に取り組む。園庭開放時の有償ボランティアについては、区配予算に区づくり予算を上乗せすることで、継続的な支援を行い、育児支援の充実を図る。  
 また、育児講座や交流保育実施時にもボランティアを依頼する。  
 対象：区内未就学児  
 会場：市立4保育所  
 イ 保育所地域ふれあい事業  
 内容：市立保育所の園庭で花や野菜を育てる。収穫した食材を用いたランチなどを通して、地域の方との交流を行う。  
 スケジュール：市立保育所1園あたり年2～4回程度
3. 保育・教育施設職員研修事業  
 内容：体育指導員による幼児期に必要な動きなどを学ぶ研修及び配慮を必要とする園児への理解と対応について学ぶ研修を実施する。また、運営指導につながる事案の未然防止の観点から施設長向けマネジメント研修を実施する。  
 対象：区内認可保育所、地域型保育事業、横浜保育室、認可外保育施設、幼稚園の職員等
4. 図書を活用した地域子育て支援事業  
 内容：市立保育園を活用した地域への絵本貸出  
 市立保育士による読書関連イベントの実施  
 対象：区内未就学児等
5. 保育所入所支援事業  
 内容：局から配付される横浜市保育所等利用案内に加え、鶴見区内の保育所等の一覧及びマップを配布し、保育所を選択しやすいよう支援する。また、概ね30分以内で通える町名別保育所一覧を作成し、保育所等の入所につなげるための的確な支援を行う。  
 対象：区内の保育所等利用申請者等  
 参考：直近3年の保育所等利用申請者数  
 (平成30年度：6,649人 令和元年度：6,945人 令和2年度：7,211人)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
保育士確保推進事業	0	310	△ 310	事業見直しによる減
保育所多文化共生事業	466	780	△ 314	基本書類の翻訳終了による減
保育資源活用事業	935	785	150	工事終了に伴い園庭開放を再開することによる増
保育・教育施設職員研修事業	417	317	100	新規研修実施による増
図書を活用した地域子育て支援事業	400	400	0	
保育所入所支援事業	1,416	1,208	208	新規事業等に伴う増
事業費合計	3,634	3,800	△ 166	

【根拠とするデータ等】

こども青少年局職員研修謝金支払基準、有償ボランティア配置実績 (H29, H30, R元)、お話し会・絵本等貸出実績 (H29, H30, R元)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	松浦 淳	長谷川 文	相澤 春佳

[ 鶴見 区 こども家庭支援課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成26年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	鶴見区虐待予防事業
-----	-----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	主な施策番号
30	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,651					2,651
前年度	2,647					2,647
増△減	4	0	0	0	0	4

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	1,469	1,397	2,774	予算 事業費	2,651	2,651
メリット+一般財源	1,469	1,397	2,774	算 一般財源	2,651	2,651
決算 事業費	1,334	1,385	2,344	方針に関する決裁 種別( )		
メリット+一般財源	1,334	1,385	2,344	有:件名( )、日付( 年 月 )		

事業の概要(目的)	子育てに関する負担や不安を軽減し、児童虐待の予防を目指します。
-----------	---------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	全国的に児童虐待に関する相談が増加しており、鶴見区でも同様に年々増加しています。その背景には、身近な相談者がいない養育者が増えていることや、インターネット等で氾濫する情報を的確に選択し子育てしていくことが難しくなっていることもあげられます。鶴見区でも、子どもの成長に応じた対応に苦慮し、「しつけの仕方がわからない」「子育てにイライラしてしまう」などの声が多く聞かれています。こうした子育ての大変さから、怒鳴る・叩く等の虐待につながることも多く見られるため、子どもとの関わり方やしつけの仕方についての工夫を伝えたり、個々に寄り添った相談をしていくことが必要です。また、子どもや家庭を取り巻く問題が多様化する中で、専門的な相談を行うことも必要となっています。
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律

【実績の推移・今後見込み】

<講座の参加者数>

	R元年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み
講出座張	全7回 136組	全5回 50組	全7回 140組
講子演育会	28人 27人	30人	30人

<専門家相談>

	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み
臨床心理士	42回 72人	42回 68人	42回 84人	42回 84人
精神科医	6回 9人	6回 11人	6回 18人	6回 18人
弁護士	8回 21人	8回 22人	8回 24人	8回 24人

【実施内容】

子育て中の親の不安を軽減し、虐待予防につなげるために、出張講座や専門家相談を実施します。

1 親支援講座

①出張講座：【対象】0～3歳児の保護者 【内容】子育ての工夫を伝える講座  
【会場】子育て支援拠点等の身近な会場 年7回

②子育て講演会：【対象】1歳6か月～2歳児の保護者  
【内容】発達の節目の時期に子どもの成長に合わせた対応を伝える 年2回

③スキルアップ研修：【対象】子育て支援者、子育て支援拠点スタッフ等の支援者 年1回

2 専門家相談

- 臨床心理士 年42回 子育て中の親の相談
- 精神科医 年6回 精神疾患に関連する相談等
- 弁護士 年8回 DV相談に関連する法律相談
- 教授 年10回 児童虐待に関する相談

3 虐待防止小中学校出張講座

学校についてはこれまで要望に応じて行う方法でしたが、地域や学校と連携する方法に変更し、継続してけるような講座の展開を検討していきます。

また、思春期の教育に関わる生徒指導専任教諭・養護教諭などを対象に研修会を実施します。

- ・小学校：2校 【内容】命の授業 赤ちゃんふれあい体験
- ・中学校：2校 【内容】性感染症 妊娠から出産 赤ちゃんを育てること
- ・思春期に関する研修会 【対象者】 生徒指導専任教諭・養護教諭など 年1回

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
親支援講座	466	646	△ 180	昨年度作成リーフレットの増刷のみを行うため減
専門家相談	1,422	1,650	△ 228	講師報酬単価を他の事業と揃えたため減
虐待予防小学校出張講座	101	101	0	
緊急対応	662	250	412	スマートフォン購入による増
事業費合計	2,651	2,647	4	

【根拠とするデータ等】

子ども青少年局職員研修講師謝金支払い基準、鶴見区一時託児推進事業実施要領、H30, R元実績値

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭係
	御小柴 朋子	斉藤 尚子	相澤 春佳

( 鶴見 区 - 22 )



[ 鶴見 区 福祉保健 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	鶴見・あいねっと推進事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1, 2
16	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本年度	2,553					2,553
前年度	2,984					2,984
増△減	△ 431	0	0	0	0	△ 431

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	1,513	1,415	2,935
メリット+一般財源	1,513	1,415	2,935
決算	986	835	2,084
決算	986	835	2,084

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	1,600	1,600
一般財源	1,600	1,600

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )  
 無

事業の概要 (目的)	「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」を推進し、健康で住みやすい福祉のまちをつくります。
------------	--

(説 明)

1 地域の課題等

鶴見区は転入や出生による人口増加が続き、地域との関わりが希薄な住民が増えています。また、鶴見区では長年に渡り、様々な地域での福祉保健活動が活発に行われてきましたが、これまで積み重ねてきた活動の後継者となる、地域活動の担い手の不足が深刻化しています。しかしながら、望ましい将来像として「安心・安全」「子どもから高齢者、障害者など全ての人にやさしいまち」を志向する区民が多いため、様々な保健課題や地区特性に合わせて区民と行政との協働をすすめ、地域のつながりを再構築する必要があります。

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	----------	---------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	社会福祉法、鶴見・あいねっと推進委員会運営要綱
------------	-------------------------

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込
地区でのあいねっと活動参加者数(人)	4,005	4,911	5,032	4,589	100	5,000
あいねっと推進組織との連携(回)	104	131	109	101	20	130
推進フォーラム参加者数(人)	470	372	351	-	-	550

【実施内容】

■地区別計画推進

1. 地区懇談会等で地区の声を反映した第4期地区別計画（3年4月～8年3月）の周知や計画が具体的に推進できるよう、地区の状況にあわせた支援を行い、区民との協働による解決を積極的に進めます。
2. 地区別支援チームに対し、地域の実情に合わせた活動支援のための研修や助言者によるアドバイス等を行い、メンバーのスキルアップを図ります。

■第4期区計画の策定・周知、推進

1. 第4期区計画を策定・公表します。（新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、昨年度内の策定・公表予定から延期して実施）
2. 鶴見・あいねっと推進委員会及び策定検討プロジェクトを開催し、第4期区計画の周知・広報や区全体としての推進方針について協議します。
3. 区社協、地域ケアプラザ、区内活動団体等と連携し、第4期区計画の周知や具体的な取組につなげます。
4. 区域全体の福祉保健活動の啓発と促進のため、区社協・地域ケアプラザ・区民と協働し「推進フォーラム」を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地区別計画推進	441	441	0	第4期地区別計画策定・推進
区全体計画推進	2,112	2,543	△ 431	第4期区計画策定・推進
事業費合計	2,553	2,984	△ 431	

【根拠とするデータ等】

実績を根拠として作成。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画担当 係
	市川 裕章	櫻井 佑樹	松本 貴春

[ 鶴見 区 福祉保健 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名
ヘルスアッププラン

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
15	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,893					1,893
前年度	4,027					4,027
増△減	△ 2,134	0	0	0	0	△ 2,134

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,752	2,268	2,496	予算	事業費	1,893	1,893
	メリット+一般財源	1,752	2,268	2,496		一般財源	1,893	1,893
決算	事業費	1,634	1,786	2,280	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名 ( )、日付 ( 年 月 ) 無			
	メリット+一般財源	1,634	1,786	2,280				

事業の概要(目的)	区民の平均自立期間(日常生活に介護を要しない期間の平均)を延ばすため、区民が意識的に健康づくりに取り組めるよう健康に関する講座や啓発等を行います。また、それらの取り組みを区内の民間企業・関係団体等と連携し行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

以下のことから生活習慣病やその予防、健診等の制度について、啓発や健康づくり活動の支援を進める必要がある。

- ・鶴見区は平均自立期間(H28年)が市内では男性も女性も短い。  
男性 78.24歳(市内15位) 女性 81.85歳(市内17位)
- ・全国の死亡数を基準とした標準化死亡比SMR(H24~28年)では、男女ともに、生活習慣病に関わる死亡が高くなっている。  
男性…急性心筋梗塞、心不全、脳血管疾患、脳内出血、食道癌、結腸癌、直腸癌、肝癌、肺がん  
女性…心不全、脳血管疾患、脳内出血、脳梗塞、肺癌、乳癌
- ・横浜市国民健康保険加入者の鶴見区の特健健診受診率(H29年度)は20.8%と低い。
- ・横浜市国民健康保険加入者で特健健診受診者の結果分析(H28年度分 60歳代対象)では、鶴見区は男女ともにBMIの平均が市内で一番高く、血圧も男女ともに一番高い。また、HbA1cの平均値も、男性(1位)女性(2位)ともに高く、また喫煙習慣のある人の割合や、就寝に前2時間以内に夕食を取る割合も男女ともに高い。生活習慣病予備軍が多いことが危惧される。
- ・横浜市がん検診受診率(H30年度)では、乳癌17.9%(市18.6%)、大腸癌12.8%(市12.8%)、肺癌8.1%(市10.0%)と市と同様に低い。

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	5 区民アンケート
-------------	----------	---------	-----------

2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」
-------------	---------------------------------

3 根拠法令・要綱等	健康増進法「健康日本21(第2次)」 「第2期健康横浜21」
------------	--------------------------------

【実績の推移・今後見込み】					
単位：人	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込
親子歯つばい講座	528	449	444	283	480
幼児の食育講座	140	161	205	166	240
食育ミニ講座	2,744	2,569	1,632	2,362	2,500
離乳食教室	355	338	265	216	480

【実施内容】

コロナ感染期においては開催中止や受講人数の変更、個別相談への切り替えを行います。

1. 生活習慣病予防

①子育て世代への健康啓発  
 こども家庭支援課と連携し子育てサロン等の場で、保護者向けに生活習慣病や健診・がん検診等について啓発を行います。また健康測定機器を用いた健康チェックを行います(必要時)。

②運動普及啓発  
 区民が普段の生活に無理なく運動を取り入れられるよう、媒体を活用し啓発を行います。

2. Come Come(囃む囃む)元気大作戦!

①親子わくわく歯つばい講座(年12回 各回20組予定)  
 歯が生え始めた児とその保護者を対象に、むし歯予防や歯磨き方法についての講座を行います。保護者の歯周病リスクチェックも行います。

②歯周病・オーラルフレイル予防等啓発  
 歯と口の健康週間イベントや両親教室等の機会に歯周病やオーラルフレイルについて啓発を行います。

### 3. 食育事業

#### ①食育研修会および食育イベント

食育月間や区内スーパーと連携したイベントで、食育に関する啓発を行います。また食育に携わる関係者を対象に研修を行います。

#### ②幼児の食育講座（年6回 各回20組予定）

1、2歳の幼児と保護者を対象に、適切な食事や食習慣についての講座を行います。

#### ③食育ミニ講座（3歳児健診の年36回）

3歳児健診の場を活用し、食育ボランティア（げんき号）が子どもと保護者にバランスのとれた食事について啓発を行います。

#### ④離乳食教室（12回）

出生数が多く、区配（12回）だけでは対応できないため、上乘せ（12回）で離乳食教室を実施します。

### 4. 健康づくり推進会議

区内の民間企業・関係団体と健康課題や健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため、健康づくり推進会議を実施します。また、臨海フェスティバルを活用し、健康づくり推進会議の取り組みを啓発します。

#### 【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1. 生活習慣病予防	431	431	0	
2. Come Come（囃む囃む）	785	2,921	△ 2,136	単年度事業終了による減
3. 食育事業	549	547	2	
4. 健康づくり推進会議	128	128	0	
事業費合計	1,893	4,027	△ 2,134	

#### 【根拠とするデータ等】

健康横浜21第2期中間評価報告、健康に関する市民意識調査28（横浜市）、区別がん検診結果（H30）、第2期横浜市国民健康保健事業実施計画（データヘルス計画）、横浜市国民健康保険加入者の特定健診データ（H28年度）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	市川 裕章	河内 裕夏	岡安 佐知子

[ 鶴見 区 福祉保健 課 ]

予算区分	防犯・防災・安全対策費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	防災 高齢者 障害児・者	事業開始年度	平成17年度
------	--------------------------	-------------	--------------------	--------	--------

事業名	「広げよう見守りの輪」推進事業
-----	-----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	6

事業評価 書番号	該当無し
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,587					1,587
前年度	968					968
増△減	619	0	0	0	0	619

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	2,993	1,238	2,025	予	事業費	1,587	1,587
算	メリット+一般財源	2,993	1,238	2,025	算	一般財源	1,587	1,587
決	事業費	1,453	1,413	1,575	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	1,453	1,413	1,575	有:件名( )、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要 (目的)	ひとり暮らし高齢者や災害時要援護者など支援を必要とする人に対し、日常的な見守りや訪問活動を充実させることにより、顔の見える関係づくりを進め、緊急時・災害時に地域で支えあう見守り体制の醸成を図る。また、災害時に自力での避難が困難な要援護者の避難支援体制を強化を図る。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等

鶴見区の高齢化率は21.1%（令和2年3月31日現在）と年々高くなっており、核家族化が進み単身高齢者の数も増加している。町内会加入率も減り、地域の住民同士のつながりも希薄化している。このような状況の中、孤独死・孤立死の問題や、地域での支え合い機能の弱体化など、必要な人に対して適切な支援が届かないことが危惧される。

特に、災害発生時の避難行動などに対応することが難しく、その後の生活に様々な困難が予想される高齢者や障害者等（災害時要援護者）に対しては、地域における支援体制の充実を図る必要がある。

また、昨今の風水害の災害状況を踏まえ、風水害時に避難する際に支援が必要な方（風水害時要支援者）への地域における支援体制の充実を図る必要がある。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度 鶴見区運営方針 1 地域力の強化

3 根拠法令・要綱等 社会福祉法第107条、災害対策基本法、震災対策条例

【実績の推移・今後見込み】				
	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み
定期訪問・見守対象者	3,387人(H30.3)	3,345人(H31.3)	3,073人(R2.3)	約3,000人(R3.3)
災害時要援護者名簿登載者数	約6,300人	約6,800人	約7,100人	約7,500人

【実施内容】

訪問員（民生委員等）を支援するために、高齢者に対し訪問や見守り活動を行うためのきっかけを作れるように、訪問時に持参する配付物等を作成する。特に、令和3年度はコロナ禍での民生委員・児童委員の訪問支援を行うために、「新しい生活様式」を踏まえた「見守り訪問ガイド」を作成し配付する。

区役所から民生委員又は自治会町内会に災害時要援護者名簿を提供し、地域における平時からの関係づくりや災害時の安否確認、避難支援などに活かしていただけるようにする。

また、風水害時に備え、区消防団や地域ケアプラザ・民生委員等地域の関係機関と連携した取り組みを行う。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
見守り・定期訪問活動	983	368	615	新型コロナウイルス感染拡大対策による増
災害時要援護者支援	604	600	4	郵便料の増
事業費合計	1,587	968	619	

【根拠とするデータ等】  
災害時要援護者名簿登載者数実績(平成29年度～令和元年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 市川 裕章 高島 友子	係長 櫻井 佑樹 森兼 亜紀子	事業企画担当、高齢・障害 係 武藤 旭洋 藤本 加奈子
--------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------------------

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成21年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名 感染症対策事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 該当なし
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	15 5 5 5	事業評価 書番号 事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	910					910
前年度	433					433
増△減	477	0	0	0	0	477

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	417	758	417	予算	事業費	910	910
	メリット+一般財源	417	758	417		一般財源	910	910
決算	事業費	361	734	181	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	361	734	181	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	感染症について関係機関への啓発及び連携を深めることにより、感染症の拡大防止を図ります。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等  
 感染症は、不適切な対応や報告の遅延が、拡大や集団発生を引き起こす危険性があります。そのため、感染症についての知識の啓発と発生時の対応について、区民や関係機関に研修や通知を通じて知ってもらい、連携をとる必要があります。また、新型インフルエンザについても、区職員が健康危機への適切な対応ができるよう、研修及び対応訓練により発生時に備える必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望	8 その他
-------------	------------	-------------	-------

2 運営方針等との関係  
 令和2年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」

3 根拠法令・要綱等  
 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律  
 市内特別養護老人ホーム等における横浜市感染症対策指導者養成研修事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】  
 施設等からの感染症集団発生報告書や対応を振り返ると、感染拡大の背景には、従事職員の感染症への不十分な知識や、初発発生時の対応の不備等が散見されています。また、新型コロナウイルス感染症については、感染機序や対策についての知識はまだまだ浸透していません。そのため、対応に必要な知識や手技についての啓発が必要です。また、新型コロナウイルス感染症や、今後発生する恐れのある新型インフルエンザや重篤な新興感染症の国内発生時に適切に対応できるよう、区の体制の確認や平常時からの訓練が求められています。

【実施内容】  
 1. 感染症対策  
 ①区内施設向け啓発(資料送付 8月)  
 高齢者施設や学校、保育施設等を対象に、集団発生を起こしやすい感染症の知識や対応方法、報告の仕方についてお知らせします。  
 ②感染症対策指導者養成研修(研修 年2回)  
 高齢者施設や学校、保育施設等を対象に、集団発生を起こしやすい感染症の知識や対応方法について、嘔吐物処理や手洗い実習を交えた研修を開催します。  
 2. 新型インフルエンザ等対策  
 ①啓発と備蓄(通年)  
 新型コロナウイルスや新型インフルエンザや新興感染症についてパンフレットを用いて啓発します。また、新型インフルエンザ等行動計画に基づきマスク等の備蓄の更新を行います。  
 ②区職員向け研修および訓練(年1回)  
 新型インフルエンザ等の発生に備え、発生時の職員対応について、研修と庁舎活用訓練を行います。  
 ③他機関との連携(年1回)  
 臨海3区(川崎市川崎区、東京都大田区、横浜市鶴見区)と感染症連絡会を行うことで、新興感染症等に対する連携強化を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1. 感染症対策	243	243	0	感染症対応増による増
2. 新型インフルエンザ等対策	667	190	477	衛生用品の購入数増
事業費合計	910	433	477	

【根拠とするデータ等】  
 感染症法に基づく届出状況、衛生研究所感染症情報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	市川 裕章	河内 裕夏	岡安 佐知子

[ 鶴見 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成16年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業
-----	-------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	420	0	0			420
前年度	678	0	0			678
増△減	△ 258	0	0	0	0	△ 258

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算	1,426	500	1,017
算	1,426	500	1,017
決	1,149	410	853
算	1,149	410	853

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	420	420
算	420	420

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めていきます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	鶴見区における障害者手帳の所持者数や障害福祉サービスを利用する方の数は毎年増加しています。障害福祉制度は多岐にわたるため、支援の方法も個々のケースにあったものと考えていく必要があります。また、高齢化や障害の重度化、複雑な家庭環境など支援が難しい案件が増えており、障害福祉分野の人材不足も課題となっています。そのため、障害児者団体や関係機関がネットワークを構築し、情報を共有しながら支援を行うことが求められます。また、困難事例に対応していくためには、専門職の知識や技術の向上にも取り組む必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    3 地区担当制度    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」
3 根拠法令・要綱等	障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法

【実績の推移・今後見込み】  
令和元年度実績  
・地域自立支援協議会の開催：代表者会議1回、担当者会議1回、事務局会議8回、専門部会16回  
・冊子「つるみでくらす」の改訂：3月発行、2,000部  
・障害者週間イベントの開催：令和元年12月2日～12月6日に区役所区民ホールで開催  
・スキルアップ研修の実施：全10回、参加者延べ263名

【実施内容】  
1 障害者地域生活支援事業：障害者支援の仕組み・ネットワークを当事者や関係機関とともに構築します。  
(1) 鶴見区地域自立支援協議会の推進：代表者会議年1回、担当者会議年3回、専門部会隔月開催。  
各会議や専門部会の活動を通じて、情報や課題の共有を行い、地域課題の抽出・検討や関係機関のネットワークの構築を図ります。  
また、事例検討や研修等を行い、参加機関の職員等の知識・技術の向上を図ります。  
(2) 障害理解の推進：障害者週間に合わせたイベントの実施や、福祉施設の自主製品等のPRや販売支援等を行い、区民の障害理解や意識啓発に繋がります。  
(3) 専門職のスキルアップ研修の実施：専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を身に付けるための研修を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
障害者地域生活支援事業	420	678	△ 258	啓発物品作成終了による減
事業費合計	420	678	△ 258	

【根拠とするデータ等】  
前年度実績による

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 高島 友子	係長 岡部 智明	障害者支援担当 係 岡部 智明
--------------------	-------------	-------------	--------------------



[ 鶴見 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名
鶴見区高齢者はつつ生活応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
16	1、4
17	2、4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,374					1,374
前年度	1,840					1,840
増△減	△ 466	0	0	0	0	△ 466

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,273	1,565	1,963	予算	事業費	1,374	1,374
	メリット+一般財源	1,273	1,565	1,963		一般財源	1,374	1,374
決算	事業費	1,438	1,144	1,241	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,438	1,144	1,241	無			

事業の概要 (目的)	高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、介護予防事業を進めます。特に、前フレイル期にあるオーラルフレイルに注目し、歯科受診勧奨やフレイル予防について個別通知を行います。また、認知症になっても、本人の意思が尊重され地域で暮らし続けることができるよう、認知症についての普及啓発や予防を進めます。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	鶴見区の65歳以上の高齢者数は約6万2千人（R2.3月）、平成27年から令和6年の10年間における75歳以上の人口の増加数・増加率はともに18区中市内で最も増加すると予測されています。横浜市高齢者一般調査「健康とくらしの調査」では、鶴見区の後期高齢者口腔機能低下者の割合が市内第1位であることからオーラルフレイル予防は、喫緊の課題となっています。また、認知症の患者が増加する中で、認知症の普及啓発や予防が重要になってきており、活動継続のためには多くの支援が必要です。さらにコロナ禍においては、活動の不活発化によるフレイルの懸念もあることから、新しい生活様式の中での取組を進めていく事が大変重要となっています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度 鶴見区運営方針 「3子どもから大人まで安心・元気に」
-------------	----------------------------------

3 根拠法令・要綱等	老人福祉法、第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、認知症施策推進5か年計画、横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

- 区内70歳の高齢者（3,421人）に横浜市歯周病検診（無料）の受診勧奨とオーラルフレイル予防啓発について個別通知を実施。
- 認知症支援者向けの研修会『スリーA研修』（3回、各30人）。VRを利用した体験型講座の実施（1回、60人）。

【実施内容】

- 介護予防事業
  - 区内70歳の高齢者（約3,500人）に横浜市歯周病検診（無料）の受診勧奨とオーラルフレイル予防啓発について個別通知します。
- 認知症普及啓発事業
  - ①キャバパン・メイトや認知症サポーター等の地域の実践者向けの研修会、『スリーA研修』を実施します。（3回、各30人）
  - ②キャバパン・メイト等のフォローアップを目的とする、VRを利用した体験型の講座を実施します。（1回、50人程度）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
介護予防事業	794	1,160	△ 366	令和2年度契約に基づく減
認知症普及啓発事業	580	680	△ 100	講座受講想定者数の減
事業費合計	1,374	1,840	△ 466	

【根拠とするデータ等】

横浜市統計情報、横浜市将来人口推計、平均寿命、健康寿命（平均自立期間）、横浜市高齢者一般調査「健康とくらしの調査」（H29.3）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域包括ケア推進担当
	高島 友子	國本 幹子	城内 佑

[ 鶴見 区 生活衛生 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育	事業開始年度	平成13年度
------	------------------------	-------------	--------------------------	--------	--------

事業名	生活衛生サポート事業
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書 番号	該当なし
事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	876					876
前年度	991					991
増△減	△ 115	0	0	0	0	△ 115

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度	令和5年度
メリットナード財源	998	1,033	1,212		
決算	1,024	949	1,184		
メリットナード財源	1,024	949	1,184		

事業の概要 (目的)	市民の食中毒等の健康危害を未然に防止するため、食品・環境衛生に関する最新の情報提供や啓発を行うとともに、犬猫の適正飼育に関する啓発や災害時ペット対策、またハチやネズミの駆除の支援等を通じて、区民が安全・安心で快適な生活が送れるようサポートします。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等

近年、加熱不十分な食肉による腸管出血性大腸菌感染症（O157等）やカンピロバクター、魚介類の寄生虫のアニサキス、ノロウイルス等による食中毒が市内外で数多く発生しています。その発生リスクは鶴見区内でも同様であり、区民の健康危害の未然防止には継続的な情報提供・普及啓発が求められています。  
また、犬猫など動物の適正飼育や災害時ペット対策に対する区民の関心は高く、ハチやネズミの駆除等についても相談が多く寄せられている状況にあり、地域の問題解決に向けたサポートが求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望
-------------	------------	--------

2 運営方針等との関係 令和2年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」

3 根拠法令・要綱等 食品衛生法、食品表示法、動物の愛護及び管理に関する法律、狂犬病予防法、横浜市スズメバチ等対策実施要領、横浜市居住衛生対策業務実施要領、横浜市防疫対策実施要領、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

【実績の推移・今後見込み】

内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
食中毒件数 ※	1	7	1	4	4
食中毒患者数※	3	53	3	25	25
食品苦情	39	74	69	50	50
食品相談	694	1,079	839	1,000	1,000
食品 啓発・講習会	140	27	23	30	30
環境 啓発・講習会	15	5	7	7	7
ハチ相談	272	129	222	200	200

※厚生労働省の統計に合わせて年集計

内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
犬苦情	176	233	221	240	241
猫苦情	165	315	309	320	320
犬の咬傷事故	8	4	9	5	5

内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ネズミ相談件数	261	157	215	200	200
現地調査件数	26	8	8	15	15

【実施内容】

- 食品衛生関係事業  
近年増加している、加熱不十分な食肉による、腸管出血性大腸菌（O157等）やカンピロバクター、魚介類に寄生しているアニサキスによる食中毒の防止について、関係施設への立入や各種講習会等を通じ普及啓発を実施します。  
また、ノロウイルス食中毒を未然に防止するため、高齢者施設の給食施設や食事サービスボランティアの団体に対して衛生管理に関する指導・助言を重点的に実施します。
- 環境衛生関係事業  
ハチによる刺傷事故を未然に防止するため、駆除機材の貸し出しや、ネズミ捕獲機の貸し出しを実施します。
- 人と動物の共生推進事業  
人と動物が共に快適に暮らせる街づくりを推進するため、次の事業を行います。  
・動物介在活動に参加するための、動物及び飼い主に関する審査会の開催  
・犬の飼い主のマナー向上等、犬猫の適正飼育啓発事業の実施  
・野良ねこの敷地への侵入やふん尿被害防止のための方策の提示及び超音波式ねこ被害軽減器の無料貸し出し  
・拠点訓練と運営委員会での災害時ペット対策についての周知啓発や講演会の実施

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食品衛生関係事業	405	405	0	
環境衛生関係事業	50	115	△ 65	昨年度整備終了による減
人と動物の共生推進事業	421	471	△ 50	昨年度整備終了による減
事業費合計	876	991	△ 115	

【根拠とするデータ等】

窓口相談等受付件数 (R1)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 相田 剛	係長 守屋 幹生	食品衛生係 環境衛生係 本橋昌也
--------------------	------------	-------------	------------------------